

Q. 19 授業で学習したことを家庭学習（宿題）につなげたいと思います。何か気を付けることがありますか。

A. 家庭学習を充実させるためには、授業で学習したことがつながるように支援していくことが大切です。授業で指導できなかったところを「あとは家で宿題としてやっておこうね…」と行って、学習すべきことをすり替えるようなことがないようにしましょう。

主に、家庭で学習するように教師が出す課題のことを宿題といますが、子どもによっては、自主学習の習慣が身に付いていないことや、自分の力で課題を解決することが難しい状況が予想されます。

日々の学びを振り返ったり、次に習う学習内容を事前に予習させたりすることを促しつつも、子どもに過度な負担がかからないよう、教師の適切な配慮が大切になってきます。

○宿題の目的

宿題の目的には、『漢字や計算問題といった知識の定着や技能の向上』『家に帰った後も必ず一定時間机に向かう習慣を身に付けること』『子どもたちに自分自身で考える習慣を身に付けさせる』の3つが考えられます。



○宿題の出し方

宿題は学習効果を高めることを目指しています。そのためには、次の条件を考えて宿題を出すことが必要です。

◇子どもの能力に合った宿題を出す

程度の高いものや、子どもの生活経験から離れたものではなく、子どもの必要感や意欲、興味を考えて子どもが積極的に取り組めるような内容を考えましょう。

◇具体的な数量と方法を明示する

漠然とした課題を与えるのではなく、具体的な数量と方法を明示しておくことが大切です。例えば「△△と考えた理由をノートに2つ書いてくること」「3回読んで、それぞれ何がわかったのかを書いてくること」など、具体的に示していくとよいでしょう。

○事後指導

子どもが宿題をやってきたら必ず評価をします。その際に、本人の頑張りや工夫した点などを認め、温かい評価言を返していくようにしましょう。また、学習の仕方について適切に助言をしたり、参考になる資料があれば宿題に添えて渡したりするなど、子どもが「頑張ろう！」という意欲をもって、継続的に取り組んでいけるように支援しましょう。

○自分の意志で学ぶ方法を育てる

宿題は、多くの子どもたちが好む学習活動ではありません。しかし、学力を高めていくためには、避けて通れないことであり、その地道な努力が確実に実を結ぶという実感を味わわせることが大切です。そのためには、時間と手間がかかりますが、学び得た喜びや学習意欲は一生の財産となり、子ども自身の『生きる力』

となって脈々と生きていきます。

また、授業と家庭学習とをつなげていくことはとても重要なことです。特に、小学校低学年の家庭学習では、家庭との連携によって『学習の仕方』を身に付けさせることが大切です。子どもが教室を離れても、自分の意志で学び続けるための基盤づくりこそが、家庭学習（宿題）の最も重要な意義と言えるでしょう。



学習意欲を高める

子どもたちの学習の心構えをつくり、学習意欲を高めるために、学習の目的や目標を意識させることが有効です。



意識させる方法として、次のような指導のポイントが挙げられます。

- ①教師が学習内容についての目的や目標を具体的に示すこと
何を何のために、どこまで、何を目指して学習するのかを具体的に示すことで、やる気につなげることができます。
- ②中間の目標を立て学習させること
遠大な目標だと、子どもにとっては具体的になりません。途中の目標を決め、達成感を味わわせることです。
- ③やや難しい目標を立て、挑戦させること
努力して困難を乗り越えることにより成就感を味わうことができます。
- ④家庭学習で学習時間や学習内容の目標を立てさせること
「毎週、7時間学習する」「毎日、何時から何時まで学習する」「毎日、問題を3問ずつ解く」「夕食後すぐ、宿題に取りかかる」というように、学習時間や学習内容などについて目標を立てさせるとよいでしょう。実行した結果をグラフに書き込ませると、一層効果があります。